

令和5年度 運営指導で印象に残った 良い取組事例

他の施設や事業所ではどのような好事例があるのか、その一部を紹介します

急変時の対応

- 転倒や転落事故があった際、時間経過ごとに症状を記録できる様式を使用して事故後の経過観察を行い、症状の急変に備えている
- 事業所の緊急時連絡先を遠方に住む家族にも配布している
- オンコール担当を2人体制で行い、不測の事態に備えている
- 非通知設定をしている利用者についても、連絡がとれるように工夫している
- 緊急連絡名簿を毎月見直している
- 緊急連絡先を記した用紙を利用者宅に設置している

サービスの質の向上

- 研修実施後は、確認テストや研修内容の理解度チェックを行っている
- 自己点検表とサービス評価表を活用して業務改善に取り組み、それを来所者も閲覧できるよう掲示している
- スタッフミーティングの際、他事業所で発生した事故についても情報を共有している
- 排せつ介助後などで入居者の清潔を保つために入浴したほうがよいと思われる入居者には、個別性に配慮した臨機応変に対応している
- 在宅酸素が必要な入居者のため、従業者全員が技術を習得するために看護師から個別で研修を受講している
- 施設案内をInstagramを活用し、利用希望者や就職希望者確保に努めている

事故防止のための取組

- 服薬管理は事前チェックだけでなく、服用後にも薬の個包装袋を確認している
- 誤薬を防ぐために、二次元コードにより服薬を確認している
- 誤嚥防止のために、毎食前に体操や口腔体操を行っている
- ヒヤリハット報告書が日常の気づきを含めた報告となっており、利用者との対応で注意すべきことが情報共有できるようにしている

次のページにも続きます



虐待防止のための取組

- 虐待を未然に防ぐため、従業者に虐待やストレスチェックのアンケートを実施している
- 身体的拘束等の適正化のための対策を検討する委員会で、身体拘束のスピーチロックやグレーゾーン等について検討している

非常時への備え

- 対応別避難誘導一覧表に、全利用者の個別ごとの移動手段、対応内容を記載し、避難訓練記録に、各個人の避難時の状況を記載している
- 避難訓練について、写真入りの記録を用い、反省点や今後の課題に取り組んでいる
- 過去の災害時の実体験をもとに、非常災害時に備えて備蓄ボックスを設置している

職員に対する取組

- ハラスメントに対して、従業者が相談しやすいようにサポートダイヤルを設置している
- サンクスカードや困りごとを記入できるノートなどを用いて、職員間で好取組や困った事項を相談・意見交換できるようにしている
- 好事例を各フロアやエレベーターに掲示し、職員のモチベーションアップを図っている

雰囲気づくりや食事提供の工夫

- 食事の時間にテレビを消し、音楽を流して、食事に集中できるようにしている
- タブレット端末を活用し、イベントや日常の利用者の様子を撮影した写真を日常的に利用者や家族が館内で見られるようにしている
- 職員がなるべく姿勢を低くして、利用者と同じ目線でケアするように努めている
- 利用者同士の顔が見えるレクリエーションや一日に複数回の体操、歌やしりとりなどを行い、毎回実施内容を確認して次回への取組に生かしている

紹介した事例が、日々の運営の参考となれば幸いです

